

新型コロナウイルス感染症の院内感染事案（クラスター事案）の発生について
（社会福祉法人恩賜財団 済生会御所病院第2報(最終報)）

社会福祉法人恩賜財団 済生会御所病院において、これまでに入院患者13名、職員3名 計16名の感染が判明しました。感染状況から、入院病棟Aおよび入院病棟Bにおいて院内感染（クラスター）が、入院病棟Cにおいて院内感染が発生したと考えられます。

これを受け、当該医療機関では病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、院内感染事案は終結し、本日（2月10日）から社会福祉法人恩賜財団 済生会御所病院はすべての病院機能を再開します。

感染拡大の原因は、感染者の早期発見および感染防御策の徹底が不十分であったことと推定しています。

当該医療機関では改めて職員の感染防御策の徹底（手指消毒、マスク着用、PPE（個人用防護具）着用）および職員・患者への健康管理の徹底を行うなどの再発防止策を講じたところです。

1 発生場所

社会福祉法人恩賜財団 済生会御所病院（所在地 御所市三室20）

2 感染者の概要(合計16名)

- ・経緯:入院病棟A 1月18日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から、7例の感染を確認。
入院病棟B 1月22日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から、6例の感染を確認。
入院病棟C 2月2日に1例の感染を確認。

・感染者内訳:入院患者13名、職員3名

50代2名、60代1名、70代3名、80代6名、90代4名

	入院病棟A	入院病棟B	入院病棟C
入院患者	5名	7名	1名
看護師	2名	—	—
看護補助者	1名	—	—
合計	8名	7名	1名

※第1報(1月31日)以降、入院患者1名の感染が判明しています。

3 県の対応

- ・入院患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示。
- ・職員の日常生活を含めての感染対策の徹底を指示

4 病院の対応(2月10日0時時点)

- ・関係箇所の消毒実施
- ・入院病棟Aの新規入院を休止（1月20日～1月31日）
- ・入院病棟Bの新規入院を休止（1月22日～2月2日）
- ・入院病棟Cの新規入院を休止（2月2日～2月9日）

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。